

幸せになるための魔法の言葉

幸せになるための魔法の言葉、それはありがとうという言葉です。私は中学校まで日本にいたのですが、ちょうどその頃、演説にいらした方がそうおっしゃっていました。当時の私は、そんな簡単な言葉で人は幸せになれるのだろうか？と不思議でたまりませんでした。

当時の私は、自分が思う幸せを二つ考えてみました。一つ目の私の幸せはおいしい食事ができること、二つ目は大切な友達と一緒にいられることなので、ありがとうとは関係なく自分には自分なりの幸せがあると思っていました。しかし、幸せになるための魔法の言葉を知ってから、自分なりの幸せは、ありがとうと関連しているのだと気づきました。

日本人は感謝の言葉をよく使うなと感じました。例えば中国では、さぁご飯ですよの合図で食べ始めます。しかし、日本人はいただきますと言って食事を始めます。このいただきますは、今食べている野菜、肉、魚であれ、すべて自分の為に命を犠牲にして、この食卓にある。だから彼らに対して感謝の気持ちがあるのだと知りました。

私は大学に入って初めてサークルに入りました。そこでの私は、まだ新しい芽のような存在です。友達という存在も、そんな新芽のような私に水を与えてくれるじょうろのような存在だと気付いたのです。サークルでは、テニスの練習メニューを指導する役目なのですが、フォームも知らない私に先輩が教えてくれ、練習メニューの考案も同学年の友達からアドバイスをもらい、そこで成長することができました。そして、私が友達に対して、ありがとうと伝えると、彼らも笑顔で喜んでくれます。それを見た私もなんだか幸せな気持ちになれました。

ありがとう、この言葉は私が思っていた二つの自分なりの幸せで使っていたこと、感謝の気持ちを表すことで、自分が幸せだと感じるのだと気づきました。この言葉の大切さに気付いてから、些細なことでも感謝しようと思いました。だから私を今日まで健康に過ごすことができた自然に対してありがとう。じょうろになって私を成長させてくれる友達に対してありがとう。まだまだ新芽ですが、みんなの気持ちにありがとうという感謝の言葉を忘れず、いつか立派な花を咲かせたいです。